

2026年5月12日

各位

会社名 ニッコー株式会社
代表者名 代表取締役社長 三谷 明子
(コード番号 5343 名証メイン)
問合せ先 取締役コーポレートバリュー本部長 馬場 浩嗣
(TEL. 076-276-2121)

繰延税金資産の計上および連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)において、繰延税金資産を計上しました。また、本日付「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)の連結業績につきまして、前期実績値(2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日))との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は当該期間に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては実績値との比較になっております。

記

1. 繰延税金資産の計上およびその内容

当社は、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討を行った結果、2026年3月期において企業会計基準適用指針第26号「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」における会社分類の変更を行い、将来の合理的な見積可能期間内の課税所得見込み額に基づいて、当該見積可能期間の繰延税金資産は回収可能性があるものと判断し、法人税等調整額(△は利益) △211百万円を計上しました。

2. 業績への影響

本日公表の2026年3月期決算短信に反映しています。

3. 2026年3月期通期連結業績の前期実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A) (2025年3月期)	15,068	367	361	289	10円93銭
当期実績値(B) (2026年3月期)	15,982	724	741	813	28円8銭
増減額(B-A)	913	356	379	524	
増減率(%)	6.1	97.0	105.0	181.3	

4. 差異の理由

売上高は、主に次の理由により、前期実績値を上回りました。

住設環境機器事業においては、レジデンス物件および保守管理物件の堅調な推移等、機能性セラミック商品事業においては、既存シャイングレーズ®(グレーズ基板)およびセラフィーユ®(積層基板)の受注獲得の増加および増産体制の構築等、陶磁器事業においては、大型旅客船向け特注品を含む大型案件の売上計上等により、増収となりました。

営業利益および経常利益は、住設環境機器事業および機能性セラミック商品事業の価格改定による利益率改善等、陶磁器事業の総合歩留や能率向上に伴う製造原価低減等により、前期実績値を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等調整額の計上のほか、上記の利益上昇要因が影響し、前期実績値を上回りました。

以 上